

「市立千歳市民病院経営改革会議」の設置の経緯と目的について

《会議設置の経緯》

国の医療費抑制政策や深刻化する医師不足などの影響により、公立病院が極めて厳しい経営環境におかれているなか、千歳市では、地域に必要な医療提供体制を確保し、安全で質の高い医療を持続可能なものとするため、市民病院における経営健全性の確保を図ることを目的として、国が示した「公立病院改革ガイドライン」に基づき、本年2月「市立千歳市民病院改革プラン」を策定いたしました。

「改革プラン」では、「経営の効率化」、「再編・ネットワーク化」、「経営形態の見直し」の3つの視点に立った改革に取り組むこととしており、今後の市民病院の経営形態の検討及び改革プランの進捗状況の評価については、専門的かつ客観的な立場での意見を広く聴取することを目的として、有識者や住民などで構成する組織を設置し行うこととしていることから、本会議を設置いたしました。

《目的》

市長からの諮問を受け、地域の基幹病院としての役割を踏まえたうえで、今後の市民病院の経営形態について検討していただくとともに、「改革プラン」の進捗状況について毎年度評価をしていただき、それらの結果を市長へ提言・報告していただくことを主な目的とします。

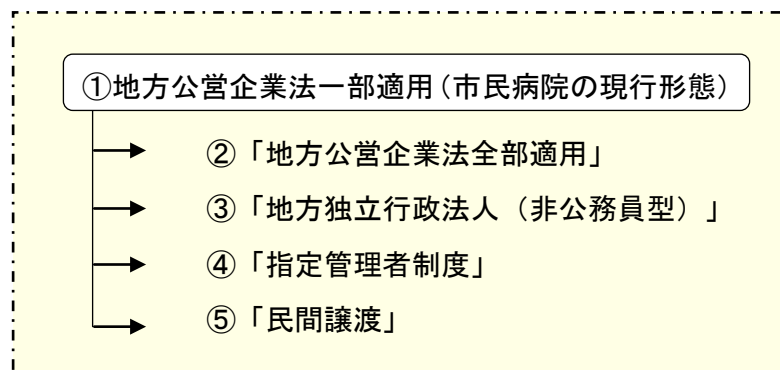
○所掌事項

設置要綱第2条

- (1) 市民病院の経営形態について検討し、意見を述べること。
- (2) 改革プランの実施状況について評価し、報告すること。
- (3) その他市民病院の経営上の課題について検討し、意見を述べること。

○経営形態の検討とは・・・

現行の経営形態のほか、「公立病院改革ガイドライン」で示されている4つの経営形態に関し制度等の比較を行い、今後の市民病院に最も適した経営形態について検討を行います。



○改革プランの評価とは・・・

改革プランでは、「平成24年度に経常収支を黒字化し、累積欠損金の段階的な縮減を図る」ことを目標としており、目標の達成に向け、経常収支比率や病床利用率など8つの主要な経営指標について、年度ごとの数値目標を設定するとともに、47項目にわたる具体的な行動計画を定めています。

経営指標の達成状況や行動計画の実施状況については、改革プランの着実な推進を図るため、毎年度評価を行います。その結果、数値目標の達成が著しく困難であるときは改革プランを抜本的に見直し、大幅な改定を行います。

主要な経営指標

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| ・ 経常収支比率 | ・ 職員給与費対医業収益比率 |
| ・ 病床利用率 | ・ 材料費対医業収益比率 |
| ・ 1日平均患者数 (入院) | ・ 患者1人1日当たり診療収入 (入院) |
| ・ " (外来) | ・ " (外来) |